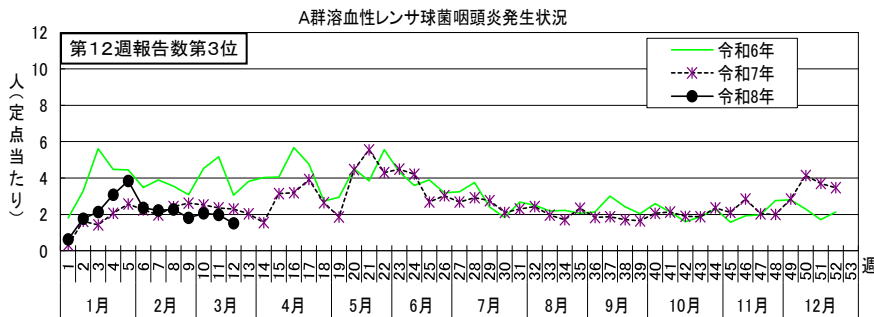
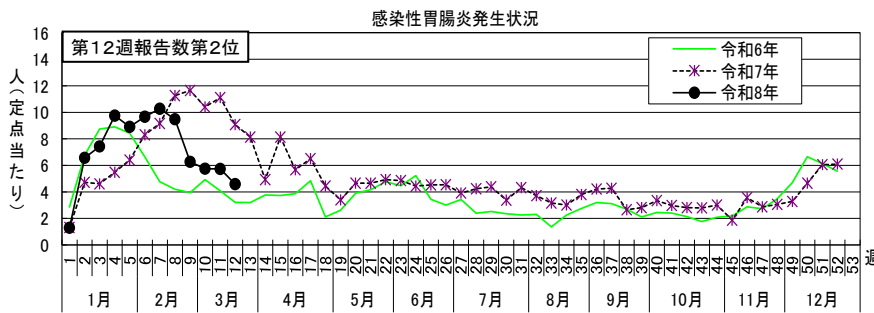
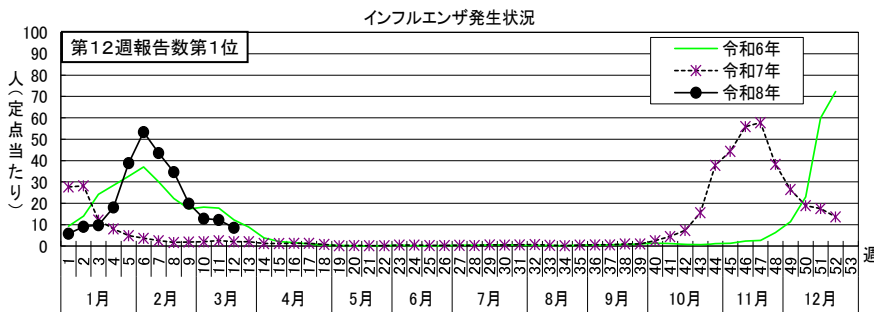


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和8年3月16日（月）～令和8年3月22日（日）〔令和8年第12週〕の感染症発生状況

第12週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は8.51人と前週（12.26人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.59人と前週（5.73人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.51人と前週（1.97人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の流行の現状

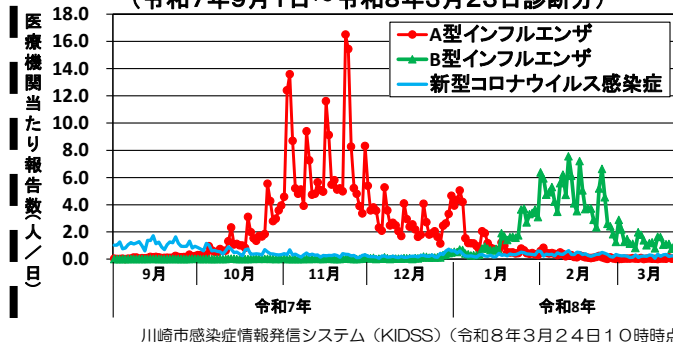
川崎市では、A型インフルエンザ、B型インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症のリアルタイムサーベイランスを実施しています。

新型コロナウイルス感染症は2月中旬以降減少していましたが、直近は15歳未満の小児を中心に、報告数がやや増加しています。

インフルエンザは、11月下旬にA型の流行がみられ、減少した後、2月中旬にB型の流行がみられました。2月下旬以降はB型の報告数も減少したものの、現在は横ばいで推移しています。

いずれの疾患も3月以降大幅な増減はみられていませんが報告が続いており、定点医療機関からの入院例の報告も断続的にみられていますので、発熱や倦怠感等の症状が強い場合は早めの受診を検討しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザのリアルタイムサーベイランス医療機関当たり報告数推移（令和7年9月1日～令和8年3月23日診断分）



川崎市におけるインフルエンザウイルス検出状況—令和7年第1週～令和8年第12週—

